

## 第4回 さぬき市健康増進計画策定委員会

- 1 開催日時 平成25年12月25日(水) 14:00~16:00
- 2 開催場所 さぬき市役所長尾支所 2階 201・202会議室
- 3 出席者 **【委員】** 真鍋委員長 久保委員 服部委員 山田委員 吉原委員  
金岡委員 岩崎委員 山下委員 米澤委員 十河委員  
宮本委員 山下委員 和田委員 (欠席6名)  
**【事務局】** 健康福祉部国保・健康課 課長外5名  
**【コンサルタント】** 1名  
**【傍聴】** 0名
- 4 会議次第
  - 1 開会
  - 2 議題
    - (1) さぬきすこやかプラン21(第2次)(素案)について
    - (2) パブリックコメントの実施について
    - (3) その他
  - 3 閉会
- 5 配布資料 第4回さぬき市健康増進計画策定委員会資料  
パブリックコメントの実施について
- 6 議事録

	開会〈14時00分〉
事務局	ただいまから第4回さぬき市健康増進計画策定委員会を開会いたします。皆様方には年末押し迫り大変ご多忙のところご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。本日は6名の委員様から欠席の連絡をいただいております。従いまして出席13名の委員の皆様でご協議をお願いしたいと思います。本日の会議はさぬき市健康増進計画策定委員会の設置要綱第5条第2項によりまして、委員の半数以上の出席によって会議を開くことができますことをご報告させていただきます。なお、本日の傍聴者はありません。それでは、真鍋委員長さまのほうから、ごあいさつ及び議事の進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

<p>委員長</p>	<p>このさぬき市の健康増進計画の委員会も第4回になりまして、随分とまとまってきたなというふうに思います。本日のメインとしましては、この素案について皆様方のご意見をいただければというふうに思っておりますので、ご協力またよろしく願いいたします。それでは、まず議題のその1、さぬきすこやかプラン21（第2次）の素案について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>【さぬきすこやかプラン21（第2次）（素案）について 資料説明】</p>
<p>委員長</p>	<p>前回の第3回の委員会でいただいた皆様方のご意見を反映、並びに追加の資料を加えて、今お手元にあるような第4回の修正版として今説明していただきました。今からまた皆様のご意見をいただければと思いますが、章ごとにご意見をいただければと思っております。まず、第1章1ページから4ページのところですが、先ほど事務局のようからは前回から修正はありませんということでしたが、この1章について何かご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは1章はこのままということにさせていただきます。続きまして2章、少々ページ数が多くなって、またデータの部分も沢山あるのですが、修正版で言えば5ページから36ページのところまでで何かご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>32ページですが、その最後のBMIのところ、一般的には、その基準のところ18.5未満は「やせ」というふうに表現していますが、その「やせ」という言葉は当たり前の表現なのですか。例えば、やせ気味とか太り気味というような表現ではないのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>基準的には、「やせ」です。</p>
<p>委員長</p>	<p>「やせ」ですね。他はいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>6ページについて、人口がすごく減っているなど思って気になって見ていたのですが、上の「人口推移」のグラフと下の「人口の自然増減・社会増減」のグラフと比べたら、上のグラフの平成22年の人口に、下の平成23年度の人口増減を足しても、平成23年の人口にならない。計算が合わない。</p>
<p>委員長</p>	<p>これはたぶん、私が思うには統計の取る時点が違うのではないかなというふうに思います。たぶん10月1日現在で集計するか年度で集計するかによって</p>

	違うのでしょうか。どうでしょう。
事務局	先生のおっしゃる通りそうです。下の人口自然増減・社会増減は市役所の市民課でつかんでいるデータでして年度末での数字をここに書かせていただいております。上側のグラフは5月末。人口推移のほうは5月末での数字です。
委員長	今のような5月末とか年度末とかいうそういう単語とかフレーズをどこかに入れておきましょうか。今のような数字が合わないのではないかということを書いてくれる市民が増えるということは、とってもいいことなのですけど。
委員	数字があつたらどうしても計算したくなってくるから、ここまで詳しく何人まで書かなくても、グラフだけで大体はわかると思うのですが。
事務局	下の人口増減の棒グラフは、これは市民課でつかんでいる統計で、平成13年から23年まで比較するためには5月末というのではなかなか出るのが難しいなと思っています。5ページで最新の現状を把握したいがために、最新の5月末人口を選びました。そのために次ページの人口推移も5月末で出しています。下のグラフの月報統計というのは、市民課のほうで外に出る数字ということです。
委員	ここに年度って書いてあるから、5月から5月の統計は難しい。
事務局	難しいです。(グラフ参照元の)表現を変更したほうがいいのかということもあるので、工夫してみます。ありがとうございました。
委員長	もう数字も除けて折れ線だけでいいのでは?というようなご意見もありましたが、やっぱり数字があつたほうが見やすいかと思います。数字が載ったままで表現させていただいて、ちょっと5月末とか年度末とかいうふうな表現が必要かどうか、また検討していただければというふうに思います。他、第2章36ページまでのところで何かご意見等ございますでしょうか。
委員	すみません。21ページですけれども、文章等、それから23ページの図をみての説明だと思うのですが、「特に男性の40、50歳代で相談する人いないのが多い。」とあるが、23ページのグラフでは50歳代と60歳代が3割を超えています。説明をするなら「50歳代、60歳代が相談する人がいない。」のほうが正確かと思った。

事務局	21 ページの文章のほうを訂正します。
委員	22 ページですが、表記上の問題で、小学生、中学生は男子、女子なので、男性、女性という表現はどうかと思う。男子、女子でいいと思います。
委員	全体に渡ってですが、例えば 13 ページの調査方法の乳幼児保護者用というところで、「保育所・幼稚園での配布回収」下のところでは「小学校での配布・回収」というように、中点の使い所とか読点の使い場所が本当にバラバラで統一性がないというのが第 1 章から最後の章まで見られますので、そのところはやはりこういうプランですので統一させたほうがいいと思います。例えばその 13 ページの例です。
事務局	おっしゃる通りだと思いますのでもう 1 度確認します。
委員長	他にご意見等ございますでしょうか。では、3 章に進めさせていただきます。第 3 章の 37 ページから 45 ページまでで何かお気づきの点がありましたらお願いします。この章は先ほど事務局からの説明がありましたように、39 ページのところから 34 ページのところまでライフステージについての名称を以前から変えております。「稔る世代」とかというような表記ではなく、「乳幼年期」とか「少年期」とかいうふうに表示しているんですけども、こういうことも含めてご意見がありましたらお願いします。
委員	37 ページのヘルスプロモーションの概要図ですが、住民を家族が押して、また友人が押して、地域住民が押してというのでわからなくはないのですが、「住民」ではなく、「私」とか「個人」のほうが意味がわかりやすいと思います。住民とか地域住民とか区別がつきにくい。それから、43 ページとか 45 ページに出てくる「適量飲酒」という言葉ですけど、「適量飲酒」という言葉があるのかなと思って調べたら、酒屋さんが適量に飲みましょうというときに使う言葉でした。やはり通常は「適正飲酒」という言葉のほうが、こういう場合には適当です。「適正飲酒」というのは量だけでなく飲み方ですね。人に無理強いしないとか、ちょっと休肝日を設けましょうとか。香川県のヘルスプランも「適正飲酒」となっていますし、こちらが一般的かと思いました。それからその量を適正にしましょうというときに、35 ページに「適正飲酒量」という表現も出ていました。これは量が適量っていうのを知っている人が少ないっていう意味なら「適正飲酒量」という表現でもいいのかなと思いました。

委員長	このことも含めてご検討いただければと思います。量にするのか、全てひっくるめて適正とするのか、その辺りもあると思いますのでよろしく願います。他、ご意見等ございますでしょうか。
委員	資料中、例えばアルコールかお酒か、タバコか喫煙かという言葉使いは、いわゆる飲酒、喫煙という言葉にほとんど修正されていますが、ところどころまだ残っています。それから45ページの基本指針③の右側のところで、ここは「タバコ」という言葉が使われたり、飲酒の場合は「お酒」という表現が残ったりしていますが、もう少し調整してもいいのではないかと思います。それから、用語説明の中には「ヘルスプロモーション」というのが無かったと思います。それとあわせて38ページの「ソーシャルキャピタル」という言葉も。このカタカナ語というのはなかなかわかりにくいので、用語説明の中に入れていただけたらと思います。
事務局	飲酒、喫煙について、またもう1度チェックします。そのまま「お酒」とか「タバコ」で置くべきところも検討します。
委員長	他はいかがでしょうか。先ほども言いましたが、ライフステージの名称についてこういう表現にしていますけども、この表現でよろしいですか。はい。では皆さんこれでいいというふうに同意していただいたということにさせていただきます。それともう1つは、前回ご意見がありました、42ページの基本理念のところ、前回と違うほうがいいのではというようなご意見もあり、いい表現があったら事務局のほうにお寄せいただくということでしたが、ご意見もなかったということなので、この基本理念でいくということでもよろしいでしょうか。はい。
委員	すみません。この年代の区切りのところの①ですけれども、少年期とかそれから青年期、壮年期、高年期に対して、この1番だけが「乳幼年期」になっていますね。一般的には「乳幼児期」という表現をしますが、どうでしょう。あえて「乳幼年期」としたんですよね？
事務局	他の市町の計画とかを参考にさせてもらって、何々年期が多くて、ゼロ歳から5歳という年代を表すと乳幼年期というところが多かったので、そのままそれを採用しました。
委員長	このライフステージの名称というのも、ある程度統一性をもたせるというこ

	<p>とで、なんとか年期ということが一番年齢の若いところも乳幼年期というふうな表現にしたということでしょう。それでは、またあとで全体を通してまたご意見をいただくときに、第3章に関しての何かご意見があればいただければというふうに思います。では、次第4章に移らせていただきます。第4章は46ページから64ページのところまで。何かご意見等ありましたらよろしくをお願いします。</p>
委員	<p>47ページ、バランスの取れた食事とは、というのがありますが、私たちは「食事バランスガイド」というのをすごく使うので、入れてくれたほうがいいのではないかとと思うのですが、どうでしょうか。</p>
事務局	<p>食育計画の中にはたぶん入っていると思うのですが、検討してみます。</p>
委員	<p>55ページに歯周病とはということで追加していただきました。それで、以前委員長からも言われた、誤嚥性肺炎の件もありますので、口腔ケアや肺炎に関することもこの中に追加していただけたらと思いますけど、いかがでしょう。また、タバコ、喫煙のところですけど、前にもちょっと言ったかと思いますが、分煙のマークありますよね。ああいうのも載せてみてはと思いますけど。知らない方もいると思いますので、その辺りも検討していただけたらと思います。</p>
委員長	<p>他はいかがでしょう。先ほど事務局から分野ごとのところで、そのポイントをイラスト付きで全ての分野で入れたほうがいいのかどうか、というようなこともありました。ポイントを入れるとすると、身体活動と休養・心、生活習慣病の予防、この辺りですね。またこれも事務局のほうで最終仕上げに向けて、ポイントを入れることが適切というか、入れたほうが訴える力があるなら適切に入れていただくし、このままでもいいと思うならば、無しでもいいと思います。無理矢理なんでもかんでも入れるということではないということでしたらいただければと思います。</p>
事務局	<p>はい、わかりました。さぬき市のマスコットキャラクターのさっきーもどこかに入れていこうということも考えておりますので、全体のバランスを再度考えさせていただきます。</p>
委員	<p>50ページのこんにちは赤ちゃん訪問事業がありますが、「民生委員が中心となって実施しています。」とあります。実は37ページの共助のところには「民生委員・児童委員」とあります。定かではありませんが「民生委員児童委員」</p>

	と続けてもいいのではと思います。それから、51 ページですが、「児童虐待啓発事業」とあります。これ、「児童虐待防止啓発事業」と、DV も同じですけど「DV 防止啓発事業」と入れたほうがいいのかご検討いただけたらと思います。
事務局	文言、目標の部分についてはおっしゃる通り、読みやすいように工夫しますし、修正等させていただきます。
委員	61 ページの（４）の目指す姿云々のその文章の５行目ですけれども、私もちよっとよくわからないままお尋ねしているんですが、「エネルギーの摂りすぎ」という表現でしょうか、それとも「カロリーの摂りすぎ」という表現なんでしょうか。ここはエネルギーとなっていますが。
事務局	ご指摘を受けたらカロリーかという気もしてきていますので、これも確認させてもらって修正したいと思います。
委員長	カロリーというのはエネルギーの単位なので、カロリーを摂るということはエネルギーになるので、今事務局が言ったようにどういう表現が適切か、検討していただければと思います。カロリーもエネルギーも間違いではないと思うんですけど、やはりこれは計画書になるので、市民の方が見たときにエネルギーとあるほうがわかりやすいのか、カロリーというふうに書かれていたほうがわかりやすいのか、その辺りも含めて検討していただければというふうに思います。
委員	62 ページのところの歯の健康というのがあります、下のほうですが。その生活習慣病の予防の１行目。地域のイベントや教室に積極的に参加をするっていう。教室に参加するっていうのがいろんなところにこの欄に出てきますが、ここではなんの教室っていうのを、例えば、口腔教室とかっていうふうな表現があったらどうでしょう。
事務局	乳幼児期の教室や成人期の教室をまとめて教室とさせていただいたので、詳しい教室名を記載していません。幅広く歯科の教室をしておりますので、まとめて教室とさせていただいています。
委員長	よろしいですか。今のでいくと歯科に関する例えば虫歯予防教室であったり、歯周病予防教室であったり、そういうふうな感じの名前の教室になるんですか。というのが、もしそういうのだったら、口腔に関する予防教室とか、そ

	んな表現ができるならば、口腔に関するなんか予防教室だというのがわかればいいかなというふうに思ったんですけど。
事務局	おっしゃる通り口腔に関する教室なので、そちらのほうは付け加えさせていただきます。
委員	例えば 49 ページには、「各種運動教室、イベントの実施」というのがあります。ここは運動教室だとわかりますが、あとの部分の教室が何の教室かというのがわかったほうが市民としては読みやすいかなということで申し上げました。
委員長	今のご意見は大切なところなので、今は口腔部分だけについてのご発言でしたが、他のところも含めて単純に教室というふうな表現になっていないかどうか、その辺りも含めてチェックしていただければというふうに思います。
委員長	他はいかがでしょうか。それでは、次第 5 章のほうに進めさせていただきます。第 5 章 65 ページから 69 ページまで。65 から 69 までで何かご意見がありましたらよろしくをお願いします。
委員	LDL コレステロールについて、私たちは簡単に悪玉コレステロールとか、それから HDL が善玉コレステロールとかっていうふうな表現をしますけれども、この LDL コレステロールってただけだったら、ちょっとこれ何のことっていうふうにあるので、この文言については説明、用語説明の中にあつたらありがたいなと思いました。
委員	67 ページの血糖コントロールの項では、現状が 0.7%で、目標が「減少傾向へ」、これは元々が少ないから減少傾向でもいいと思います。でも、65 ページの共食の増加が現状で 12.6%とか 5.8%などきちんと大きな数字が出ているけれども目標が「減少傾向へ」となっている。それからその下の幼児の夕食後の間食も現状が 79.9%で目標が「減少傾向へ」となっている。数値目標は書かなくてもいいんですか。
事務局	今の質問はよくわかるのですが、では、何%ならいいのかということが把握できにくいこともあって、数字を出せていないところもあります。例えば幼児の夕食後の間食の減少といたら 79.9%ですが、50%にしたらそれでいいのかなとか。本当はゼロがいいのかもしれませんが。皆さんから数値を入れたほうがいいのかというご意見がありましたら、検討したいと思いますがどうでしょう



<p>会長</p>	<p>か。</p> <p>この辺りの共食であるとか、幼児の食後の間食であるとか、その辺りのものは国とか県の計画の中には入っていないですよ。項立てとして。さぬき市独自のものになっているので、今事務局が言ったようになかなか目標値というものを設定する際にも、いわゆる拠り所とするものがなくてちょっと悩んでいるというところですね。この辺りもちょっと事務局のほうで検討していただいて、目標値を入れることが可能であれば入れたほうがわかりやすいかもしれないし、でもいろんな状況の中でなかなか目標値設定しづらいなということがあるならば、こういった減少傾向へというような表現のままでいくというふうにさせていただければというふうに思います。他はいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>65 ページの項目のところで、適正体重を維持している者の増加、括弧して肥満、やせというのがあって、この現状は肥満、やせを書いて目標は下がっていますよね。目標の項目に「増加」と書いているのに、現状には1人で食べている人のパーセンテージが出て、目標は減少するというふうになっています。「増加」と書くんだったら、適正体重の人は70.7%って書いて、これを増加で90%にもっていくとか、そちらのほうがわかりやすいと思いますがいかがですか。共食の増加も一緒です。</p>
<p>委員長</p>	<p>どうですかね。今、おっしゃっていることは正にそうで、否定を考えるのではなくて、そのものを見たほうがわかりやすいということなのですが、国や県はこういった方法での記載になっていますね。この文言からすれば、いい人を増やしましょうという表現なのですが、その裏の悪い人を減らしましょうというような計画になっていますね。委員がおっしゃっていることは、とってもよくわかるのですが、国や県の計画との整合を考えると、こういうふうな表現になってしまうなど。ただ、さぬき市だけはこれを読み替えて今のようなことをするよというのでもいいと思いますが。</p>
<p>委員</p>	<p>括弧をつけるのを逆にしたらわかりやすいかなと思います。実際この表は減少についての目標があるので、適正体重を維持している者の増加のほうを括弧を付けて後ろにもってくる。そうしたほうが、パッと見てはわかりやすい。</p>
<p>委員長</p>	<p>肥満、やせの減少（適正体重を維持している者の増加）。なるほど。</p>
<p>事務局</p>	<p>おっしゃる通りです。国が、肥満者何々の割合の減少とか、やせの女性の減</p>

<p>委員長</p>	<p>少とかいうふうな形で分けてしているのを一本にしたものですから、ちょっとわかりにくい表現になりました。この適正体重を維持している者の増加というのをあとにもって来たほうがわかりやすいと思います。</p> <p>じゃあ、今のような表現に直しましょう。では、最後のセッションになりますが、参考資料第6章。第6章が70ページからあと77ページまで。77ページのところは、例のA3版の自助の取り組み一覧を事務局のほうから説明はあったのですが、その辺りも含めて第6章の70ページから77ページのところまでで何かご意見がありましたらお願いします。先ほどご意見があったように、73ページから始まる用語解説のところでも用語の説明がありますが、これでもわかりにくいという部分、あるいは先ほどのご意見もあったように用語解説のところでももう少し付け加えて、というようなご意見もあると思いますので、その辺りもよろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>まず今日の修正版のほうですけれども、見出しは以前のほうがわかりやすいと思います。それと、結構このプランの中にはカタカナ用語が出てきますので、そちらのほうは丁寧に拾っていただいて、用語説明をしていただければと思います。先ほども言いました、例えばLDL コレステロール、病院で医師からLDL コレステロールが多いですねと言われ、聞こうと思っても聞けず帰ってきてちょっと思い悩むときもあります。それと本文中に出ている言葉を挙げて、それに対しての解説であってほしいと思います。例えば75ページの〈な〉の内臓脂肪症候群。本文中にはメタボリックシンドロームと出ています。いくつか加える分については先ほど申し上げた通りです。</p>
<p>委員長</p>	<p>今のご意見を反映していただければと思います。カタカナ用語であるとかアルファベット用語であるとか、その辺りぜひ丁寧な説明を入れていただければと思います。他はいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>普通の本とかは、巻末で調べたらこの言葉は何ページで出てきましたよ、みたいなのが出ていると思うんです。このあったページ数を横に書いていただいたら、これについて調べてみようかなと思ってまた本文で調べやすいと思うので、うとましいかもわかりませんが、どうなんでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>今、おっしゃったことは最近のワープロソフトでは簡単にできますので、それはOKだろうというふうに思います。なので、用語解説のほうに出てきているページ数を入れるというのがまず1点。また、本文のほうに出てきている言葉に用語解説があるよというような印を入れることも検討していただい</p>

	て、用語解説のほうに何ページに出てきていますよというものは入れるというふうにしましょう。他はいかがでしょうか。
委員	一般の方に非常にわかりやすい表現、用語解説をされているなどというので、誰が読んでもわかりやすいとは思いますが、健康増進法のところに、「現代病」という言葉が出てきて、これはちょっとマスコミ用語というか、ちょっとこれ計画書にはいかがなものかと。マスコミ、テレビとかには現代病とかよく、それがうつを指していたり、アレルギーを指していたり、いろいろなものを現代病ということ言っているの、ちょっとふさわしくないかなと思います。これではない普通に法律の表現で、総合的な推進というような辺りで健康増進計画をお願いいたします。
委員	用語解説でアルファベットの記載のところは、日本語と別の最後の項目にまとめてしまうというのはどうでしょう。
事務局	検討します。
委員長	70、71、72 ページの資料策定委員会の設置要綱とかメンバーというのは、最後の最後にあってもいいのかなと。用語解説の前に策定委員会のこういう設置要綱なんかがあってもいいんですかね。
事務局	最後にもっていきます。それと関連して、77 ページの A 3 をどうするかということについてご検討ください。
委員長	77 ページの A 3 のものを、今のでいくと 77 ページの A 3 のあとに策定委員会の設置要綱とかメンバーがくるようになるわけですよ。そういうふうなものがいいか、やはりこの自助の取り組み一覧というのがあるので、62 と 63 の間ぐらいに入れるようになるか。最後のほうに A 3 をもってくるか、どちらがいいんですかね。
事務局	先ほどこの 77 ページですけれども、全体の構成的に考えたら前の 62、63 の間にいくべき内容になっていると思いますので、最終の段階で、できたら前のほうにもっていく方向で調整させていただけたらと思います。
委員	58 ページ 67 ページについてお尋ねです。各種がん検診の実施というのがありますね。囲いの中に実施中の検診とありますが、このところには子宮頸がんの検診って入ってないですね。

事務局	すみません、子宮頸がんですけれども、それを子宮がんとちょっと誤って表示しております。
委員	65 ページから表に対しての※印 1、2 等の注記なんですけれども、一般的なカタログとか見ていましたら、※1 があつたら※1 はもう同じ文言だけで最後までいくと。同じ項目の部分については統一の番号で揃えていって、注記の部分は最後のところに 1 から 5 だけ明記してもいいのかなと思いますけど、どうなんでしょうか。
事務局	それも検討してみます。
委員	60 ページですが、ライフステージの取り組みの中の、少年期の飲酒、喫煙の件について。すでに小学校、中学校の保健学習の中で、お酒・タバコが健康に与える影響、また害についても学んでいますので、1 行にまとめて「飲酒や喫煙の害や健康に与える影響について学び関心を持つ。」としてはどうか。害については学んでいますので、関心を持つだけでは駄目だと思う。科学的認識を持ってもって学ぶということを小中学校ではしていますので。
委員	この基本理念のことを言うのはいけないと思うんだけど、「健康でいきいきとくらせるまち・さぬき」はわかるんですけど、どういうふうに暮らせるというふうなことがないとわからないのかなという気もしたんですけども、基本理念だから大きくていいのかなと思ったりもする。例えば、共に暮らせるとか、自助、共助、公助ということをうたうのであれば共にとかいう言葉が入ってもいいのかなというふうには個人的には思っております。
委員長	では委員の皆さん、大変沢山のご意見いただきましてありがとうございます。今の委員さんからのご意見を事務局のほうでも再度検討していただいて修正等をかけていただければというふうに思います。それでは議題 1 のことは以上でおしまいにさせていただきます、次いで議題 2 パブリックコメントの実施について、事務局から説明をお願いします。
委員長	<p>【パブリックコメントの実施について 資料説明】</p> <p>ただいまのパブリックコメントの実施についての事務局からの説明について、何かご意見等ございますでしょうか。それでは、先ほど事務局から説明があつたような方向でパブリックコメントを実施させていただきたいという</p>

	<p>ふうに思います。それでは次の議題その（３）その他について事務局より何か報告等ございますでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、今後のスケジュールでございますが、次回、第５回策定委員会は来年の２月２７日木曜日、午後２時から、パブリックコメント結果報告と計画書の検討、承認をいただけるように準備をすすめてまいりたいと考えておりますので、ご予定のほどよろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>その他、他の委員さんから何かご発言等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、以上で委員会を終了します。どうもありがとうございました。</p>
事務局	<p>今後、後日いただきましたご意見を反映させていただきまして、修正等をおこないまして委員長、副委員長と協議をして、より良いものとして提示をしていきたいなというふうに事務局では考えております。どうぞよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。</p>
<p>閉会 〈16時00分〉</p>	